

まつえ

MATSUE CITY COUNCIL
NEWS LETTER

市議会

よ
だ
り



枕木山からの眺望



龍翔山華藏寺 山門



華藏寺 参拝道



湯谷の湧水

平成の
松江風土記⑭

枕木山に懐かれて —本庄・持田—

枕木山に懐かれて、眺望よく、自然豊かなこの地域は、北山農道沿いにある湯谷の湧水をはじめ、旅人を癒すスポットが点在することで、昔から家族連れの登山客や北山縦走のハイカーたちが数多く訪れている。

その中心である龍翔山華藏寺は、堀尾吉晴公が松江に築城する際、当寺を祈念所としたことで有名であり、山門(鐘楼門)は、松江市の指定文化財に登録されている。



9月定例会

平成28年9月7日～10月3日

総合戦略事業と一層の事業効果を上げるための追加補正予算、
平成27年度決算および意見書など38議案を可決・認定

平成28年度補正予算並びに議案等

9月定例会は、一般会計1件、特別会計3件および公営企業会計3件の計7件の補正予算案のほか、条例案件5件、一般案件4件、議員提出議案5件など審議し、38議案を可決・認定しました。なお、平成27年度決算16件については、決算特別委員

会を設置し詳細な審査を行いました。

一般質問では、17名の議員が台風などの影響で全国的に多発する記録的な豪雨災害等に対する防災体制の強化策、総合戦略を基本としたまちづくり計画の進め方や中核市へ移行するための県との協議状況などについて、市長および執行部の見解を聞いました。

平成28年度補正予算（主なもの）

一般会計補正予算 3億2,013万円（補正後的一般会計の総額は、980億3,530万円）

・歴史まちづくり基金積立金	6,000万円
・社会保障・税番号制度事業費	4,827万円
・予防接種事業費（B型肝炎予防接種の定期接種化）	2,792万円
・保育所等業務効率化推進事業費（私立保育所特別保育事業費）	2,330万円
・児童扶養手当支給事業（児童手当等支給事務費、児童扶養手当）	1,801万円
・ものづくりアクションプラン事業費（追加支援）	1,070万円



特別会計補正予算 1億8,882万円（国民健康保険事業、介護保険事業、簡易水道事業）

企業会計補正予算 1億 688万円（水道事業、下水道事業、病院事業）

条例の一部改正（主なもの）

松江市税賦課徴収条例等の一部改正について

地方税法等の一部改正に伴い、延滞金の計算期間の見直しなどの改正をおこなうもの

松江市印鑑条例の一部改正について

平成29年1月から、個人番号カードを利用した「証明書コンビニ交付サービス」を開始することに伴い、改正をおこなうもの

松江市下水道使用料条例の一部改正について

東出雲町地内の公共下水道、排水処理施設および公設浄化槽の使用料を松江市に統一するため、改正をおこなうもの



その他の議案（主なもの）

武家屋敷保存修理（建築）工事の請負契約締結について

契約金額1億6,412万円

市道根連木池平線地盤改良その2工事の請負契約締結について

契約金額1億5,120万円

平成27年度決算審査

平成28年9月定例会において、議長と議会選出監査委員を除く31名で構成する決算特別委員会を設置し、平成27年度一般会計や特別会計、公営企業会計を審査し、事業経過と結果、今後の方針等について活発な質疑を行いました。

平成27年度は、国が地方創生を打ち出し、市も人口ビジョンと地方版総合戦略を策定し、地方創生と中核市を目指す取り組みをスタートさせた年でした。また、松江城天守の国宝化、尾道松江線の全線開通などにより、交流人口の拡大が図られました。質疑では、財政運営や公共サービスのあり方、外国

人観光客の増加対策、松江市らしいまちづくりなど様々な課題に対して、市の考え方を問いました。



〈新しい松江市総合体育館〉

一般会計決算状況

	平成27年度	平成26年度	差引(H27年度-H26年度)
歳入決算額	1,030億3,556万円	1,012億6,428万円	17億7,128万円
歳出決算額	1,020億3,379万円	1,000億1,989万円	20億1,390万円
差引(歳入-歳出)	10億 177万円	12億4,439万円	▲2億4,262万円

決算特別委員会の審査結果と委員会としての主な意見は以下の通りです。

(委員会意見については、前年度の予算執行上の改善点を指摘し、次年度予算への反映を求める内容となります。)

一般会計

認定(賛成多数)

- ◆市有財産の売却については、前後の状況など各担当部において十分に情報共有されたい。
- ◆電源立地地域対策交付金の使途については、ソフト事業に固定化していく傾向にあるが、災害対策ハード事業等や地域総合戦略事業等にも充当し、特色ある地域づくりに成果が表れるような使途にも充当されたい。
- ◆ものづくりアクションプランは第1期計画が27年度で終わったが、雇用確保と拡充に直結する事業であり、成果が出る事業には重点的に予算配分されたい。
- ◆マイナンバーカードの交付率が低いので、交付率向上に努められたい。
- ◆「子育て環境日本一」の取り組みにおいて、さらに子育て支援の重要性が増している。保育所などの施設の確保と拡充、保育士の確保支援に努められたい。
- ◆学校の改築や改修事業もめどが立ちつつあるが、各運動施設などの改修計画を明確にし、年次を区切り集中的に改修改善に取り組まれたい。
- ◆中核市への移行、観光振興、防災対策など、行政需要が増大する中、適切な組織体制の整備と人材確保、職員の研修・視察など積極的に行い、職員の資質向上や施策遂行に必要な能力の開発に努められたい。
- ◆行政マネジメントシステムを予算要求、決算審査にも活かし、政策評価と施策の改善につながるよう善処されたい。

- ◆災害対策で大橋川の拡張工事は順調に進められており、大橋川を挟む南北の市街地の用地調査に入っているが、まちづくりについても早急な青写真を作成し、市民の協力を得やすくするよう努められたい。



〈改修がすすむ大橋川事業（向島川樋門）〉
(写真提供：国土交通省出雲河川事務所)

- ◆ワーキングプア解消、同一労働同一賃金の観点での職員の待遇改善を図られたい。
- ◆児童クラブは、子ども一人当たりの面積及び一クラスの人数を早期に国の基準どおりに達成されたい。
- ◆扶助費などの社会保障費や公共施設の維持管理費の増大が危惧されており、さらなる自主財源の確保に取り組み、歳入の拡大策に精力的に取り組まれたい。

特別会計

住宅新築資金等貸付事業特別会計 認定(全会一致)

- ◆滞納整理に引き続き取り組まれたい。
- ◆特別会計を閉じ、一般会計で処理することになるが、実効ある債権回収、関係機関への財政支援の充実を求められたい。

簡易水道事業特別会計 認定(全会一致)

- ◆上水道との料金統一に向けて、市民の理解を得るよう努力されたい。

以下認定

国民健康保険事業、宍道国民健康保険診療施設事業、後期高齢者医療保険事業、介護保険事業、企業団地事業、公園墓地事業、鹿島町恵曇・講武・御津・佐太財産区

企業会計

水道事業会計 認定(賛成多数)

- ◆施設の老朽化対策や今後の上水道と簡易水道との統合を控え、更なる改革や努力・知恵の発揮を期待する。
- ◆国への高料金対策を引き続き求められたい。
- ◆今後の料金体系の見直しについては、市民負担を考慮され、適切に対応されたい。



〈mondセレクション金賞を受賞した
「松江 縁の水」〉

病院事業会計 認定(賛成多数)

- ◆引き続き「急性期病院」としての機能発揮と他の医療機関との役割分担・連携を一層推進されたい。
- ◆平成29年度から開業予定となっている「がんセンター」の運営についても万全を期されたい。



〈建設中のがんセンター〉

以下認定

下水道事業、ガス事業、自動車運送事業、駐車場事業

平成27年度決算の財政指標等

	平成27年度	前年度比	早期健全化基準
経常収支比率	89.2	▲1.1	
財政力指数(3カ年平均)	0.569	0.006	
実質公債費比率 ^{※1} (3カ年平均)	15.4	▲1.3	25.0
将来負担比率 ^{※2}	128.8	▲12.2	350.0
地方債残高 ^{※3} (一般会計)	1,247億5,553万円	▲17億5,041万円	
債務負担残高(一般会計)	270億8,871万円	139億9,991万円	

※1: 資金繰りの危険度を示す指標。※2: 将来の財政負担の大きさを示す指標。※3: 借入金残高を示す。
いずれも前年度に比べて減少し、改善されています。

陳情の審議結果

件名	提出者	結果
陳情第33号 性的指向および性自認等による差別等の困難の解消および支援のための法律の早期制定を国及び関係省庁に求める意見書の提出について	のりこえねっと紫の風 代表 上田 地優	採択
陳情第34号 橋北地域の定住につながるまちづくりの方針の策定について	松江市川津地区自治連合会 会長 久保田 明雄 外6団体	採択
陳情第35号 中国共産党政府による法輪功迫害の停止と、臓器の強制摘出の停止のため日本政府の正義の行動を求める意見書について	NPO法人 日本法輪大法学会 (島根県代表) 孫 樹林	不採択

9月定例会 一般質問

9月定例会では、9月12日から9月14日までの3日間にわたり一般質問を行いました。

質問をした議員本人が通告した項目の中から一つ選び、要旨をまとめたものを掲載しています。

みしま
三島 良信

会派代表質問

(松政クラブ)

- ・島根県との関係について
- ・まちづくりについて
- ・市民対応について
- ・市長の海外出張について

質問 まちの形をどのように描いているか

合併して11年半、この間線引き問題、都市計画税、土地利用など、拠点連携のまちづくりについて議論をしてきた。①市長はまちの形をどのように描いているか。②陳情の議会議決をどう思っているか。

回答 地域の皆さんと創りあげたい

- ①将来のまちの姿を描くことは容易でなく、具体的に示せず残念で遺憾なこと。拠点連携はどういう形が良いか、今までの進め方に反省をすべき点が非常に多いと思っている。行政主導でなく公民館単位の地域の皆さんの考えを入れながら、総合戦略と連携させて創り上げる必要がある。
- ②議会で陳情が採択されたことは重く受け止めている。「土地利用のグランドデザインに関する基本的な考え方を取りまとめられたい」という市議会から頂いた課題の解決に向けて進めていきたい。

いしくら
石倉 徳章

会派代表質問

(真政クラブ)

- ・次期市長選への立候補について
- ・財政運営に対する考え方
- ・観光客等受け入れ体制
- ・農業、農村整備振興政策
- ・子育て支援と少子化対策の徹底
- ・公共事業、災害防止対策の推進

将来必要な公共施設整備や各団体や施設、

質問 市民の要望に応ずるべきである

本市の財政は健全化に向っている。地方消費税交付金の増加、今後の公債費の減少、近年続いた大型公共事業も一段落した。財政に余裕の時期ができると想定する。

諸施設の老朽化対策、将来必ず必要な社会資本整備や景気対策、諸団体、施設、市民要望に応ずるべきである。

社会資本整備は地域の発展、安全安心の

回答 観点から一定規模を行う

主要な財政指標が大きく改善し着実に財政健全化は進んでいる。今後の交付税の減少や類似団体比較から引き続き健全化を進める必要がある。老朽化施設や社会インフラは適正化計画の中、適切な維持管理を行う。社会資本整備は地域の発展、安全安心の観点から一定規模していく必要がある。バランスのとれた市政運営を進める。

はやし
林 干城

会派代表質問

(松政クラブ)

- ・農山漁村の地域振興について
- ・全国植樹祭について
- ・インバウンド観光について
- ・文化財事業について
- ・事業発注の進捗状況について
- ・障がい者差別解消条例について

質問 第71回全国植樹祭開催地は松江市で

林業関係団体は、溝口県知事に第71回全国植樹祭を島根県に招致するよう要望し、平成32年の大会は島根県内で開催されることが内定した。全国植樹祭は二巡目を迎える、どんどん植林を、という時代とは異なり、国土や環境の保全、地球温暖化等について一層の理解を深め、意識高揚を図る契機となっている。植樹祭の開催地は松江市が最適と考えるが、市の決意を伺う。

回答 本市での開催を島根県に強く要望する

本市は交通アクセス、宿泊施設等受け入れ条件も整っており、また開催年の平成32年は、日本書紀が編纂されて千三百年の年で、書紀に出てくる風土記の丘周辺の里山を古代の景観と関連づけた整備や、両陛下に植樹をいたたくことで、県民市民の森林・緑に対する理解が深まる機会になると思っているので、本市での開催を県に強く要望していく。

たなか
田中 明子

会派代表質問

(公明クラブ)

- ・中核市移行
- ・市長の欧米3か国訪問
- ・教育問題
- ・ワーク・ライフ・バランス
- ・災害対策

質問 実効性ある被災者支援システム構築を

平時から防災・減災に取り組むとともに、被災後の復旧や被災者支援をスムーズに行うための取り組みが重要。被災者支援システムは住民サービスという観点だけでなく、災害発生時の自治体職員の負担軽減のためにも整備すべきであり、被災者支援に必要な全情報を持ち合わせている市において、実効性のある被災者支援システムを構築していただきたいが所見を伺う。

回答 多数にわたる関連部局が連携を図り、システムの確立に努める

被災者支援システム構築は、他のシステムとの連携拡充により事務の省力化も可能になり市民ニーズに応えられると思う。今後、災害情報の集約や共有、初動、応急対応、復興、生活支援等に対応可能な総合型システム導入を検討する。そのために防災部局だけでなく、多数にわたる関連部局が連携を図りシステムの確立に努める。

もりもと
森本 秀歳

会派代表質問
(市民クラブ)

- ・平成27年度主要施策
- ・**2016年度島根県最低賃金結果を受けて**
- ・東京オリンピック・パラリンピックを見すえて
- ・地方創生
- ・子どもたちのゲーム依存



**市内事業所の状況把握し、
質問 必要があれば手を打つべき**

島根県の最低賃金が過去最高の22円引き上げられた。これまで島根県は賃上げ額も低かったので、喜ばしいことであるが、中小零細企業にとっては、経営に影響が出ることが懸念される。行政として市内事業所の状況を把握し、必要があれば手を打つべきと考えるがいかがか。

回答 関係機関と連携図り、支援に取り組む

国においては、設備導入などの生産性向上を支援するための助成制度をさらに拡充する予定である。

松江市においては、ものづくりアクションプランに基づいた企業力向上、販路拡大、製品開発への支援、特に小規模事業者の経営支援に注力していく。企業を訪問していく中で得た現場の声を、島根県あるいは経営者協会、商工会議所、商工会、こういった関係機関に伝えることで連携を図り、今後の支援等に取り組んでいく。

のつ てるお
野津 照雄

(松政クラブ)

- ・**大橋川改修事業進捗状況、環境保全、利活用について**
- ・宍道湖・中海での漁業振興、水質改善について

魚見塚遺跡の調査から古代道路が

質問 発見されたが事業への影響は

今回の文化財発掘調査から、律令時代に整備された古代道路（出雲国府から島根郡を経由し千駄、隱岐島に向かう6~12mの道路）が発見されたが、大橋川改修事業で移転対象の方、地権者、地域の方々への影響はどうか。

**回答 市道道路計画の修正も想定し地域、
地権者の皆様と協議をしていく**

国内でも数少ない非常に重要な遺跡の発見であり、埋蔵文化財の担当部署で詳細な位置関係等を確認するため追加調査が行われる。調査結果によっては市道の道路計画の修正も想定されるが、計画市道沿線を移転先に検討されている方、道路改良計画や宅地造成計画に及ぼす影響等について充分な検討を行い、地域の皆様や地権者の皆様と協議を行っていきたいと考えている。

たちばな
橋 祥朗

会派代表質問
(共産党議員団)

- ・市長の政治姿勢について
参院選結果、憲法、TPP、核廃絶、原発などについて
- ・**空中給油機配備など美保基地の軍事的強化に反対を**
- ・水上飛行機問題と地域振興、ラムサークルシンポジウムに学んで

質問 空中給油機配備は基地の軍事的強化に

美保基地における、新たな空中給油機の配備は、今年度配備予定の大型輸送機C-2への給油が主の任務。C-2は今後、いつでも世界中の戦場に、兵員と武器、弾薬を送ることが出来る。教育隊の移転により、美保基地は、教育・輸送から、陸上自衛隊の大型ヘリ配備と共に、軍事基地としての機能を強化することとなり、世界の戦争につながる入口となる。自衛隊員と市民の命を守るために、市長は配備反対を。また事前協議について地域住民への説明や意見の集約をどのように取り組むか。

回答 安全を第一に、地元の意見を聞いて

国防は国の責任で行う事項だが、何よりも地域住民の安全を第一に運航など求めたい。地域住民の要望をしつかり国に伝えたい。県を通して事前協議の申し入れが来ているので、関係地域と十分に協議して、十分な説明、また地域の声をつかみたい。

ののうち まこと
野々内 誠

(松政クラブ)

- ・**市街化調整区域における地域拠点の整備手法について**
- ・「舟つきの松」の公園整備について
- ・介護保険の制度改革に関する対応策について
- ・地域おこし協力隊について

質問 市街化調整区域内の地域拠点は必要

国が考える土地再生特別措置法の立地適正化計画での地域拠点は、市街化調整区域への設置は想定にないという。関連する都市計画マスター・プランも策定が検討されているが、市街化調整区域への設置手法は何があるか。そして、市街化調整区域への拠点整備の考え方を伺う。

回答 地域再生法での集落生活圏で設置可能

市街化調整区域内での拠点形成が可能であるかどうかについては、疑問を持っていた。国土交通省の都市計画課長の見解によると、地域再生法による地域再生計画制度によって市街化調整区域内の拠点形成は可能であるという回答を得た。集落生活圏という手法によって該当するようだ。

市街化調整区域への拠点整備については、単に拠点を作ることではなく、そこでどういうまちづくりをしていくかという中身が大事であり、考えていきたい。

き た に ま い
貴 谷 麻 以

(真政クラブ)

- ・防災復興計画の早期設計の必要性
- ・エネルギー自立の都市づくり
- ・女性の働き方と子育て支援
- ・TPPについての市長会の対応

防災復興計画の早期設計の

質問 必要性があるのでは

震災の復興調査を政治学や自治体関係者と行ったが、1避難、2状況把握、3課題解決と復旧・復興は「同時に」行わなくてはならないということが分かった。災害に遭ってからでは考えられないことも分かった。福島県の双葉町でもそうである。何であれ自治体が復旧シミュレーションしていない場合、市民生活の復興が大幅に遅れることも分かっている。松江市も全国の復興、防災のプロの話を聞いて検討を進めるべきだと思うがいかがか。

回答 事前に検討しておくのは難しい

想定し難いので事前検討は難しい。様々な場で意見交換はしていきたいと思っている。

は た お こ う せい
畠 尾 幸 生

(市民クラブ)

- ・地域医療構想(素案)について
- ・地域医療構想(素案)と地域包括ケアシステム・介護保険事業計画について



質問 県が示した地域医療構想(素案)について

県は医療介護総合確保推進法にもとづき、2025年度の松江圏域の病床数を現在の病床数から19.9%減らす素案を示した。また、課題として市立病院と松江日赤の役割分担と相互協力、在宅医療提供体制の整備などを上げている。このことについて見解を問う。

県の数値は参考数値であり、

回答 必要な圏域の医療提供体制を検討する

県素案は参考数値であり、病床を強制的に削減させるものではない。松江地域は医療需要の増加が推定されており、医療提供体制を継続的に検討していく必要がある。市立病院と松江日赤は連携協調を常にしており、今後もその方向で進めたい。在宅医療提供体制は、市医師会・病院・介護事業者など関係機関と連携し、必要な医療が適切に提供される体制を確保できるようにしたい。

し の は ら さ か え
篠 原 栄

(公明クラブ)

- ・改正発達障害者支援法について
- ・介護保険について
- ・市民見人と日常生活自立支援事業について



なごやか寄り合い事業は、

質問 一般介護予防に該当するか

現在、なごやか寄り合い事業をそれぞれ行っているが、今やっている事業は一般介護予防事業に該当するのか。どのような内容であれば該当するのか。また、どのような支援を考えているのか。

定期的に実施されれば該当し、

回答 介護保険事業会計から補助を行う

なごやか寄り合い事業は、平成27年度で延べ4万2千8百人の方が参加。地域における介護予防事業の中心と位置付けている。総合事業移行後も一般介護予防事業と位置付け開催支援を行う。例えば毎月定例開催するなど年間を通じて定期的に実施されているところには、実施状況に応じ介護保険事業会計から補助を行っていくことを考えている。

よ し ぎ け い こ
吉 儀 敬 子

(共産党議員団)

合併後6年目の課題

- ・介護難民を生まない施策を
- ・待機児童解消と保育士の待遇改善対策を
- ・松江市のまちづくりについて

質問 合併6年目となる東出雲町の課題

東出雲町は、来年4月から都市計画税が新たに課せられ、下水道料金・軽自動車税・法人税均等割が値上げとなる。特に市街化区域内の農地が宅地並み課税となる問題には、市独自の減免制度をつくるなどの対応策を考えるべきではないか。合併後6年も経過すると、商工会管理から自治会管理に代わった防犯灯の修繕問題が切実である。事故が起きたら何処が責任を持つのか。市として独自に東出雲町の防犯灯への対策を検討すべき。

税は個別に丁寧に対応し、

回答 防犯灯は自治連と連携し対応する

市街化区域内農地の宅地並み課税については、個別に丁寧に対応する。防犯灯の管理責任は、設置者である自治会の管理であり、補助金増額は困難であるが東出雲町の自治会連合会と連携し、実態把握を行う。



新井 昌禎

(友愛クラブ)

- ・最新のICT技術等を活用した観光振興策について
- ・情報端末機の導入によるスマート市庁の実現性について
- ・公共施設適正化の進め方について

新総合体育館にスポーツ図書館的な機能を付加し、稼働率の向上を

体育館は、建設費や維持管理費に多くの費用を要することから、スポーツを行ったり、観戦したりするだけではもったいない。新体育館に、スポーツに関する情報や知識を得るスポーツ図書館的な機能を付加し、市民の相互交流の場として、施設の稼働率向上を目指すべき。

スポーツに関する情報・知識を得る場所として様々なニーズに対応したい

新体育館は、ほぼ想定どおりの稼働率となっているが、名実ともに屋内スポーツの拠点となるように、スポーツに関する情報、あるいは知識を得る場所としていきたい。現在は、休憩コーナーに児童図書コーナーを設置し、ご利用いただいている。加えて、スポーツ関係の本などを置くなど、様々なニーズに対応したい。



芦原 康江

(無会派)

- ・使用済み核燃料への課税について
- ・核廃棄物処分科学的有望地について
- ・災害時対応と環境教育としての学校における太陽光発電等設置について
- ・介護保険制度の見直しについて
- ・原子力防災訓練について
- ・子どもの権利侵害に対する相談・救済機関の設置について

いじめや体罰に関して、相談・救済のための第三者機関が必要ではないか

教育長は、いじめや体罰に関する第三者機関設置については、既存機関で適切に対応できていると答弁されていた。実際には、学校、市教委、いじめ問題専門家会議は、調査や被害者救済機関として機能していない。予断と偏見に囚われず、子どもの最善の利益を守るために、学校と切り離された相談・救済機関が必要ではないか。

相談窓口、調査機関の実効性を高める研究をしたいと考えている

指摘の事例は、初期対応に課題があり、深刻化、長期化したものと考えている。今後は、教職員の研修の充実、いじめ防止基本方針の徹底を図るとともに、指摘の点を反省材料として、既存の相談窓口や調査機関の中立性や実効性を高めていくあり方を研究してまいりたい。



岩本 雅之

(真政クラブ)

- ・社会福祉法人の経営状況について
- ・障がい者利用の就労継続支援A型について
- ・高齢者福祉施設における原発防護対策について
- ・松江市の福祉政策について

質問 松江市の未来に向けた福祉政策を問う

松江市の未来に向けた福祉政策は、まちづくりにも直結すると考えるが如何か。

目的は福祉だけではなく、協働で地域を活性化させていく事が重要である

松江市の福祉計画の表題は、福祉でまちづくりである。今、松江市において最大の課題になっているのは、人口減少と高齢化によって地域社会が寂れ、衰退をする事だと思うが、地域に住んでいる方々が元気に、生きがいを持って暮らしていく様な取り組みが大事だと考える。目的は、福祉だけではなく、「この地域を良くしよう」という大きな目標を掲げて、それぞれが努力をする事であり、地域の皆様や医療・福祉の専門職の方々が一緒になり、協働で地域を活性化させていく事が出来るよう、行政として一生懸命支援する事が重要だと考えている。



片寄 直行

(共産党議員団)

- ・国保問題
- ・原発・防災問題
- ・部落問題



質問 地震性隆起と化石発見、徹底調査を

住民とともに島根半島を中心に海岸の地震性隆起と化石調査を行った。立石雅昭・新潟大学名誉教授からは、数千年から数万年前の間に数回、地震による隆起が起こったとの所見を得た。そして、隆起した岩石に付着したヤツコカンザシ（ゴカイの仲間）の遺骸化石を発見した。今後、炭素年代測定を行い、海面付近で生息していた生物の化石から地震性隆起の時期を解明することにしている。基準地震動の厳正な審査のため、松江市としても原子力規制委員会などに申し入れをされたい。

回答 新しい知見が出れば、国に要請する

共産党のみなさんが（地震性隆起の）調査をされたことに敬意を表する。まだ分析中ということなので、その結論が出て、新しい知見という形で認められれば、私どもはそうした姿勢を示しているので、国に対して当然要請をしていきたい。

※会議録は松江市議会ホームページでご覧いただくことができます。

11月定例会日程

月	日	曜日	会議名
11	30	水	本会議(会期の決定、提案説明)
12	5	月	本会議(一般質問)
	6	火	本会議(一般質問)
	7	水	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
	8	木	総務委員会・予算委員会総務分科会
	9	金	教育民生委員会・予算委員会教育民生分科会
	12	月	経済委員会・予算委員会経済分科会 建設環境委員会現地視察
	13	火	建設環境委員会・予算委員会建設環境分科会
	16	金	予算委員会(分科会長報告・質疑、討論、採決)
	19	月	本会議(委員長報告・質疑、討論、採決)

議会事務局 TEL 55-5432

市議会は傍聴することができます

午前10時から開催します。また、午後も引き続き開催する場合は、休憩をはさみ、おおむね午後1時から再開します。議事の進行等により時間が前後する場合がありますので、詳しくは当日お問い合わせください。

委員会行政視察報告

河川整備と周辺のまちづくりを視察

平成28年8月2日～4日

宍道湖・中海問題等対策特別委員会 委員長 野津照雄

静岡県沼津市『かのがわ風のテラスについて』
滋賀県大津市『瀬田川かわまちづくりについて』
三重県伊勢市『勢田川地区かわまちづくりについて』

静岡県沼津市を流れる狩野川での取り組みを視察しました。沼津市では、地域資源や特徴を生かした個性的なまちづくりが必要という観点から市街地の中心部を流れる狩野川の水辺空間を生かしたまちづくりが国土交通省のかわまちづくりの制度を活用し進められています。狩野川周辺の回遊性を高めるために橋の下も通行できるようにアンダーパスの整備がなされ、ウォーキングやランニングをする方々が増加、また、「かのがわ風のテラス」と名付けられた階段状に整備された堤防がステージのようになっており、これを活用して水辺のオープンカフェ、バーベキュー、音楽ステージなどが開催され、多くの市民の皆さんに参加されてい



市民とともに活用に取り組む「かのがわ風のテラス」

ました。これらのイベントの成功には、商店街や周辺の住民の方々と連携できたことが大きいということで、やはり市民の皆さんと一緒にまちづくりを考えていく必要性を強く感じました。

大津市、伊勢市においても同様に多くの市民の方々が熱い思いをもってまちづくり、水環境の改善に取り組んでおられました。

●議員・委員会提出議案

件名	結果
議員提出議案第6号 地方財政の充実・強化を求める意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案第7号 高速道路の暫定2車線区間の安全対策等の推進を求める意見書について	原案可決（全員）
議員提出議案第8号 参議院選挙における合区の解消を求める意見書について	原案可決（賛成多数）
議員提出議案第9号 北朝鮮の核実験に抗議する決議について	原案可決（賛成多数）
議員提出議案第10号 介護保険の改悪中止を求める意見書について	否決（賛成少数）
委員会提出議案第4号 性的指向および性自認等による差別等の困難の解消および支援のための法律の早期制定を求める意見書について	原案可決（全員）

地産地消とアグリビジネスに学ぶ～島根県市議会議長会 議員研修会～



「地産地消とアグリビジネス」を演題に、7月20日に研修会が開催されました。農業を核とした個性豊かな産業おこし・地域おこしを推進し、農村地域の活性化や雇用の創出、地産地消などを図ることが求められています。地域振興を推進する上での行政課題等を認識し、理解を深める研修会でした。

（講師：食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサーの金丸弘美氏）

新造車両導入で更なる利用に期待



（新造車両の様々な設備を見学）

一畠電車沿線議員連絡協議会副会長 宅野 賢治

8月24日に一畠電車沿線議員連絡協議会研修会に参加し、平成27年度の収支実績報告を受けました。輸送人員は、計画値の140万人をわずかに下回りましたが、定期券で乗車する人員は、高校生の校区外通学の増加に伴い、順調に推移しているとのことでした。

その後、86年ぶりの導入という新造車両の見学をしました。運行効率を考慮した1両編成の車両であり、導入を機にダイヤの見直しも検討されています。また、地域の皆様に愛される鉄道を目指し、車体デザインも公募され、これから新造車両導入を契機とした更なる利用促進が期待されるところです。

皆さんのご意見をお寄せください

いろいろなご意見をいただいており、ありがとうございます。ご意見については、委員会の場で検討させていただいております。

〒690-8540 松江市末次町86
議会広報等特別委員会（松江市議会事務局）
電 話 (0852)55-5433
ファックス (0852)55-5533
議会事務局メールアドレス
giji@city.matsue.lg.jp

ホームページアドレス
<http://www1.city.matsue.shimane.jp/gikai/>



編集後記



情報公開の重要性が叫ばれる中、SNS等の通信手段の発達によってもたらされる利便性に惑わされることなく、全ての市民の皆さんのが手に取り、目につくことが出来る市議会だよりの重要性も再認識されております。

これからも市民目線で、読みたくなるわかりやすい市議会だよりを編集して参ります。

議会広報等特別委員会委員 長谷川修二